

令和2年度 第1回

就労移行支援事業所連絡会～サービス管理責任者・リーダースタッフ会～終了報告

令和2年11月24日(火)に、就労移行支援事業所のサービス管理責任者及びリーダースタッフを対象とした、就労移行支援事業所連絡会を開催しました。

9月に開催した第1回目の就労移行支援事業所連絡会では、7事業所16名の方に参加頂き、管理職・サービス管理責任者・中堅・初任者ごとのグループに分かれ日頃の活動や悩み等について意見交換を行いました。その後皆さんの事業所へ訪問し、連絡会に対する感想やご意見を伺う機会を設けて頂きました。その中で、情報交換し合える・学び合える場がサービス管理責任者向け・現場の支援員向けそれぞれにあると良いとお声を頂き、まずは、サービス管理責任者及びリーダースタッフの方を対象にした連絡会議を開催する運びとなりました。

企画当初は、会場にお集まりいただいた開催を検討しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が深刻化している状況もあり、今回はリモートでの開催と致しました。会の進行では参加者の皆様に沢山のご協力を頂きました。



就労支援のプロセスについて



前半の、各事業所の近況の共有や意見交換では、どの事

業所からも新型コロナウイルス感染拡大により、事業所での活動や就職に向けた具体的な活動に影響が出ているとの声が挙げられていました。その中でも特に、「働く意識」がぼんやりしている方への関わりについての課題があることが分かり、そのことから就労支援のプロセスと各段階における実習等の意義について確認をしていきました。

上図にあるように、①仕事とは何か・働くことは何かとイメージを膨らませていく段階の〔アセスメント・準備訓練期〕 ②どのような業種に適性があるかを探っていく段階の〔求職活動期〕 ③具体的に就職に向けて調整をしていく段階の〔マッチング期〕の内容について振り返り、各対象者が現在どの段階にいるのかを把握する必要性を再確認しました。

後半には当センターから、その段階に合った関わり方の1つの方法として、現在検討しているイベント情報や関わりのある企業情報を一部お伝えし、見学会や実習体験会等の提案をさせて頂きました。またそこから派生し、各事業所で活動されている利用者の企業見学・実習等の動きについて、互いの状況を共有し合える機会にもなりました。

今回の連絡会は、サービス管理責任者及びリーダースタッフの方にご参加いただきました。このような社会状況下において各事業所が孤軍奮闘するだけでなく、限りあるマンパワーの中で私達が連携し合い、利用者や企業を支えていくことを目指し、今後も意見交換し合える会になっていけたらと考えています。

会の在り方や活用の方法については試行錯誤中ではありますが、皆様から様々なご意見を頂きつつ、地域の移行支援事業所同士が繋がる場、連携に繋がるきっかけ作りの場となる様開催して参ります。

コロナ禍でこれまで通りに進められないことが多々あるとは思いますが、今後も地域の就労支援の力を高めていけるよう皆様のお力をお借りしながら開催していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。